

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学力向上については全校で一致した取り組みができ一定の成果を挙げることができた。言語活動の工夫や話し合いのさせ方などについて授業力の向上に努めていくと共に、明らかになった課題を解決すべく中学校と連携しながら実践を進めていく。</p> <p>・豊かな心の育成については、道徳科の充実と同時に日々の学習や活動の中で豊かな心を育てていくよう取り組む必要がある。また、教育相談に関することやいじめ問題への対応などについては今後もチーム対応をしていく。</p> <p>・健やかな体の育成については望ましい生活習慣の定着に向けて取り組むことができた。引き続き、ひこばえカード等を活用し改善を目指していく。体育的行事では児童にめあてをしっかりと持たせ、振り返りもさせながら意識を向上させ、健やかな体づくりを目指していく。</p> <p>・働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実については教職員一人ひとりの業務改善と働き方改革への意識向上を目指す。</p>
2 学校教育目標	ひこばえの心をもち、強く・かしこく・美しく生きる子どもの育成を図る
3 本年度の重点目標	<p>①小中連携による確かな学力の向上及び主体的・対話的に学ぶ態度の育成</p> <p>②自己肯定感や自己有用感をもち、人を思いやる豊かな心の育成及びふるさと大浦を誇りに思う心の育成</p> <p>③粘り強く健やかな体の育成及び自他ともに命を大切にす態度の育成</p> <p>④ワークライフバランスを保ち、働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							学力PJ
	○自信をもって表現する子どもの育成	○「学級(クラス)の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科の授業で「話し合う活動」を設定する。							学力PJ
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」「自分は誰かの役に立っている」と肯定的な回答をした児童80%以上	・人権集会やほかほかの木、道徳に関するアンケートに取り組む。 ・QUアンケートに関する校内研修を実施する。							心PJ
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価アンケートで、「まわりの人たちが、困っている人にやさしくしていますか」の項目で、肯定的な回答をした児童90%以上	・心のアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見に努めると同時に事業発生の際はチームで迅速な対応を行う。 ・担任と児童一人一人と話す「教育相談週間」を設定し、児童の状況の把握と信頼関係の構築を行う。 ・毎月の子ども支援会議を通し、教師間の児童の情報共有かつ指導の統一を図る。							心PJ
	○生活指導の徹底	○学校評価アンケートで、「大きな声であいさつ」「正しい廊下歩行」「無言そうじができる」の項目で「よくなる」と答える児童70%以上	・毎月クラスで「大きな声であいさつ」「正しい廊下歩行」「無言そうじができる」を反省することで、児童の意識の向上を図る。 ・全校朝会で生活の話をする。また、定期的に放送でも、児童の良い行いを紹介する。							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●外遊びをする児童90%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上	・外遊びを推奨するための放課後を行い、曜日ごとに行う種目を設定し、様々な遊びが行えるようにする。 ・栄養教諭と連携し、食育指導を年3回以上行う。							体PJ
	○健康管理及び健康習慣の定着	○学校評価アンケートで健康管理のために手洗いうがい、歯みがきを行うことができたと思える児童を90%以上	・感染症対策も含め、日常的に意識して行えるよう、児童委員会やほけんだより、保健室前の掲示板を活用して啓発活動を行ったり、担任と養護教諭がTTで保健指導を行ったりする。							体PJ
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・自分の勤務状況を確実に把握するために出勤退勤カードの管理を確実に進行。 ・資料の事前配布やICTの活用により会議をスリム化し、会議の回数や時間を減らす。 ・毎週金曜日を定時退勤日として設定し確実に守るようにする。							校長・教頭
	○学校組織力の向上 ・ブロック制による学年経営 ・プロジェクト制による校務運営 ・各種主任、コーディネーターのリーダー性の向上	○「プロジェクトやブロック制を意識した業務ができた」と答える教員80%以上 ○「担当分野の内容改善を進んで行った」と答える職員80%以上	・ブロック主任、各部署は年間を通じて日常的に情報の共有を行い、ブロック主任は、意図的・計画的に教育活動が行われるように進捗状況を把握する。 ・プロジェクトリーダーを中心として、毎月の取組での重点的事項について内容・方法の検討や改善を行う。 ・各担当の内容について、職員会議での提案や連絡会での連絡を欠かさず行い取り組む。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援の関する専門性や意識が向上したと答える教員80%以上。	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・子ども支援会議で情報共有すると同時にケース会議を開催して個別の支援の対応を図る。							特別支援教育 コーディネーター
◎主体的・意欲的な態度の育成	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎自分の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える児童80%以上	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。 ・授業場面においては必ず振り返りの時間を設定する。							全担任

●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------